

化学物質の管理・削減 / 物流合理化の推進



当社では、「化学物質管理規準」を設け、化学物質をランク分けして管理しています。

また、環境負荷物質の使用量、排出・移動量を把握し、PRTR法に基づき届出を行っております。

PRTR法対象物質排出・移動量を2010年度に98年度比60%削減することを目標に、PRTR物質削減分科会を組織し、活動を推進しています。

■ 改善事例

PRTR法対象物質排出・移動量の6.4%を占めるキシレン・トルエンの削減を狙って粉体塗装機を導入いたしました。

改善効果 PRTR法対象物質排出量の削減… 3,000kg/年



粉体塗装乾燥機



粉体塗装吹付作業

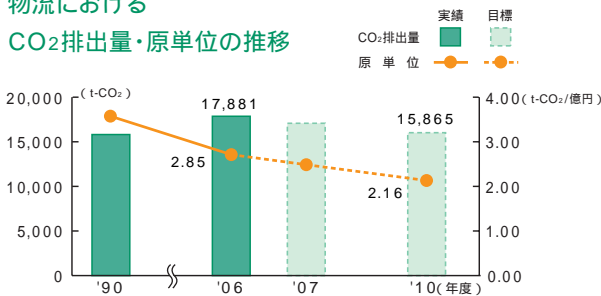
物流合理化の推進

■ 物流におけるCO₂排出量の把握と新目標の設定

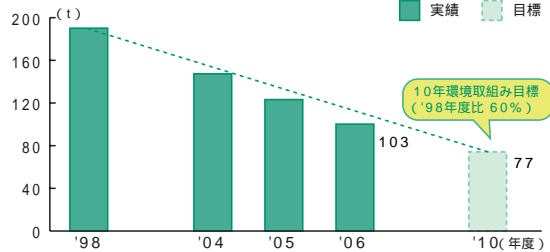
2010年には、CO₂排出量を90年レベルまで削減するべく取り組んでいます。

07年度より、下記改善事例である幹線便のトレーラー化に加えて、モーダルシフト、物流センターを拠点とした中継物流による幹線便の削減に取り組んでいきます。

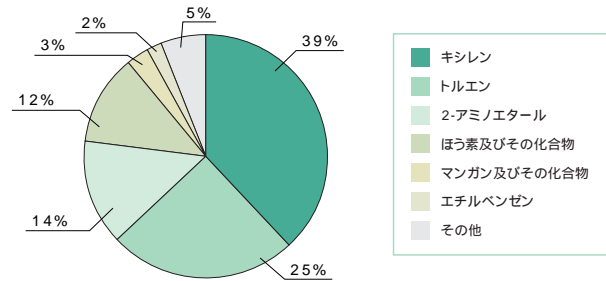
物流における CO₂排出量・原単位の推移



PRTR法対象物質排出・移動量年度推移



06年度PRTR法対象物質内訳



■ 改善事例 輸便のトレーラー化

輸出品の輸送にトレーラーを導入し、輸送便数を削減することにより、物流CO₂排出量の削減と運送コストの削減を図る。

現状

現状便数: 15t車8便/日

国分工場から神戸・大阪港行きの輸送には、15トン車トラックを利用していた。

課題点: 輸送便数が多い(走行距離が長い)ため、物流CO₂排出量大きい。

物流CO₂排出量 123t/年

改善内容 大型トレーラーを採用し、一度に大量輸送を行うことで、輸送便数を削減した。

(改善前) 15t車8便/日 → (改善後) トレーラー3便/日

トレーラーの例

積載重量
15t車..... 13.5t
トレーラー..... 26.3t

物流CO₂排出量 69t/年

効果 物流CO₂排出量削減 54t/年